

連携室だより

消化器内科のご案内

消化器内科は、消化管（食道、胃、小腸、大腸）、肝臓、胆道（胆嚢、胆管）、膵臓など多くの臓器を対象としており疾患は多岐にわたります。これらの臓器に問題が起きると、腹痛、嘔気、下痢、便秘、食慾不振、体重減少などの症状がでます。当院には内視鏡診断・治療に熟練した専門医がいます。これらの症状でお困りの方や、検診の内視鏡検査などをご希望の方があればご紹介ください。

【大腸内視鏡検査（大腸カメラ）】

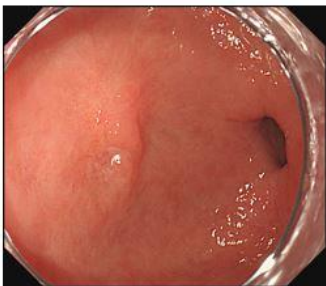
大腸がんは日本人がなりやすいがんのひとつです。便潜血検査（大腸がん検診）が陽性となった場合、血便、便秘、頻回の下痢、腹部不快感などの症状がある場合には大腸内視鏡検査を受けることが推奨されます。大腸内視鏡検査では、内視鏡スコープを肛門から挿入して大腸（結腸や直腸など）を観察し、ポリープやがん、炎症などの病気がないかどうかを検査します。生検や、そのままポリープを切除する（コールドポリペクトミー、EMRなど）こともできます。大腸全体をきちんと検査するためには専用の下剤の服用が必要になりますので、外来受診時に検査日を決めて予定してから行います。

【大腸ポリープ切除術】

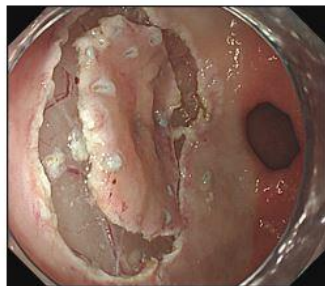
大腸がんの多くは、小さなポリープが数年かけて大きくなり、大腸がんに変化していくことがわかっています。ポリープの段階で切除することが、進行した大腸がんの予防として重要です。大腸がんの芽を摘み取るイメージです。大きくなってきて大腸がんに変化していても、早い段階であれば内視鏡的に切除して治療できることも多いです。病変の大きさや形に合わせて、コールドポリペクトミー、内視鏡的粘膜切除術（EMR）などの方法を用いて内視鏡的に切除します。

【内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）】

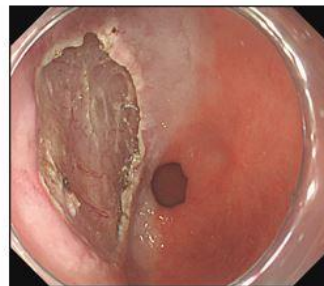
消化管（食道、胃、大腸など）の早期がんの多くは内視鏡で切除することができるようになりました。2 cm以上に大きくなった場合などには内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）による治療が適応となります。



1、2cm大の早期胃がん



2、病変マーキング後に切開



3、切除後の潰瘍の状態



大腸内視鏡検査のご希望・ご紹介がございましたら、地域医療連携室へご連絡ください。

「年末年始」休診のお知らせ

年末年始の診療は右記のとおりです。

お薬が必要な方は、早目にご来院ください。

なお、急患の方はこの限りではありません。



月	日	曜日	午前	午後
2021年 12月	28	火	診療	
	29	水	診療	休診
	30	木	診療	休診
	31	金	休診	
2022年 1月	1	土	休診	
	2	日	休診	
	3	月	休診	
	4	火	診療	
	5	水	診療	休診
	6	木	診療	

曙会理念

地域の皆様の保健・医療・福祉のために貢献し、皆様に信頼され、地域とともに発展する組織をめざします。

佐々木外科病院理念

1. 消化器疾患を中心に、がん・外傷・整形外科領域の外科系専門病院として地域医療に貢献します。
2. 患者様から信頼される良質な医療を提供します。
3. 患者様の「病気」だけにとらわれず、「人」としてふれあう「やさしい医療」を実践します。

佐々木外科病院基本方針

1. 急性期病院として、急病にはいつでも（365日・24時間）受診できる病院を実現します。
2. 良質な医療の提供のため、医療設備の充実を図るとともに、より高い知識と技能を修得します。
3. 職員は相互に協力してチーム医療を行い、患者サービスの向上に努めます。
4. 患者様に必要かつ最適な医療が受けられることを第一に考え、患者様を中心とした地域医療機関との連携を行います。

地域医療連携室

【受付時間（祝祭日を除きます）】

月～金曜日 8:30～17:30

土曜日 8:30～12:30

【担当】

MSW 武重 亮（社会福祉士・介護支援専門員）

MSW 永久 法子（社会福祉士・介護支援専門員）

MSW 馬籠 沙季（社会福祉士）

MSW 窪谷 悟（社会福祉士・介護支援専門員）

看護師 國廣 朝子（看護師）

【連絡先】

〒753-0076 山口市泉都町9番13号

TEL 083-923-8817（直通）

FAX 083-923-8833（直通）

e-mail renkei@sasaki-geka.jp

URL https://sasaki-geka.jp/



地域医療連携室で、診察、入院や検査（MRI・CT等）の予約を受付けています。
電話またはFAXでご連絡ください。

地域医療
連携室

